

小規模事業所支援、商店調査・個別支援など 新年度・区の産業振興施策が一步前進…

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

534

2014年4月20日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

新年度から区の産業施策で新規・充実事業がはじまります。そのうち、商店や町工場の改善につながる設備投資を直接支援する補助制度は、「事業所版リフォーム助成」のようなものです。また、商店の戸別訪問による調査と支援は、全事業諸調査の商店版です。いずれも区内事業者の要求であり、共産党区議団も繰り返し議会で求めてきたものです。

4/21区内小規模事業者に 設備改善資金補助(25%)を実施

消費税増税の中ですが、営業力アップにつながる支援になればと設備資金の補助制度が新設されます。小売店舗の陳列棚とか飲食店の厨房機器

対象…区内小規模事業者（区内本店で製造業20人以下、小売・卸・サービス業は5人以下で10年以上事業継続。風営営業を除く）
設備費…冷蔵庫や厨房機器、小売棚など（FAX・コピー機・車両など対象外あり）
補助額…上限100万円で設備費の4分の1
中小企業診断士による経営指導あり。
受付期間 4月21日～来年1月30日まで
問い合わせ…経営支援課3803-2311

など…リニールなどにも使えます。一定自己資金も必要ですが、ぜひ、活用してください。さらに、使い勝手がよくなるように国の制度や融資の組み合わせも求めています。

区内全商店対象の訪問調査・支援事業を6月から実施 消費税の影響把握と実態に基づく振興策の具体化を

区は、製造業に続いて区内約1800の商業事業所すべてを訪問し調査と直接の支援を実施すると発表しました。実施期間は、今年6月から10月の予定です。調査は、製造業と同様に中小企業診断士に委託するようですが、区の担当職員も一緒に調査し、現場の実態を肌身でつかむことで、生きた支援策を立案していく基礎ができると思います。同時に、高齢化が進む中で買い物に困難な方が都市部でも生まれています。買い物困難者も考慮した区内の商業振興政策がいつそう求められているのではないのでしょうか。

6/1～プレミアム付きお買い物券追加発行

区は、消費税増税による「消費の冷え込みへの対応」としてプレミアム付き区内共通お買い物券を追加発行するとしています。いま消費税増税の影響は、区民全体に重くのしかかっており、少しでも区内商店の売り上げが増えることを期待したいと思います。

発行額は、5500万円（内プレミアムは500万円）

発行日は、6月1日予定

裏面 タブレット契約は内田洋行、日暮里にハローワーク…

定例法律相談会

5月16日(金)

午後6時～8時

横山区議事務所

5月は連休のため上記の

日程に変更します。

お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

「イオン」の看板をかけた「開店工事」を行っていますが…

先日、娘からイオンの先の町屋3丁目の通り沿いの公園前にイオンが出店するみたいといわれました。私の感覚では、イオンといえば大規模な店舗をかまえ、駅前や郊外で営業している印象でした。確認してみると確かにありました。狭い間口に立派な「AEON」の看板、4月25日開店、店員募集の張り紙。調べてみると出店するのは、イオンの子会社「まいばすけっと株式会社」のようです。「まいばすけっと」は、全国で大型店とコンビニの隙間を縫うように展開、1500〜2000平方メートルの売り場に、売れ筋の食品や生鮮品など約2000品目を置いているようです。大型店出店で商店街が衰退、そこに大型店の系列店としてスーパーなど



感ずる事態です。横山幸次

タブレットパソコンのリース契約相手が決定 最初から「内田洋行」だったのか…!?



このパソコンがムダになる...



**契約金額3.2億円…
機種も変更**

新年度は、さらに残り30校すべてにタブレットパソコンを拡大しますが、今回は企画

**モデル実施も
今回も「内田洋行」に**

「タブレットパソコン一人一台体制」の予算が区議会で可決し、区教育委員会は、公募を実施、1次・2次審査を経て事業者の決定を議会に報告しました。

2013年度の4校の全児童・生徒タブレットパソコン・モデル事業では、一般競争入札で富士通リースが落札しました。しかし、実際は、内田洋行株式会社事が事業を請け負っていました。視察に行つた際も現場で機器の技術的支援を行っていたのは、内田洋行の社員でした。

内田洋行株式会社は、教育・学校関係では最大手。国のICTフィーチャスクール事業にも当初から参入。事務所機材・パソコン・IT機器など、連結決算1200億円超。契約価格...総額27億1682万8257円。タブレットPC9,131台、充電保管庫523台の60か月リースなどと30校のアクセスポイントをはじめ付帯設備工事に支援員を各校1人、統括的な人員を1人以上配置などが条件。

当初機種 STYLISTIC Q702 / G...11.6型、厚さ12.7mm、重量850g、ウインドウズ8.1(64bit)、単体価格約12.7万円
今回機種 ARROWS Q584 / H...10.1型、厚さ9.9mm、重量640g、ウインドウズ8.1(32bit)、単体価格約9.2万円

提案による公募でこれも内田洋行株式会社に決定。区立小中学校34校へ全てを内田洋行が請け負う結果になります。(内田洋行との契約は、先行モデル4校の3億8千万円含めて32億2200万円余で、当初の40億円を圧縮したものの多額です。)契約金額圧縮のためにモデル4校より、今年度は、小さめの機種に変更しました。事業者が決まり、約1万台のタブレットパソコン納入や無線環境工事など夏休みに行い、実際に使うのは、は9月以降。IT機器はあくまで道具です。機械の不具合も多く、授業が振

り回されることもあり、子どもたちが使いこなす、考える力や発想力そのものを養うことが大切です。

**パソコン教室1千台分
1億6千万円の二重支出**

すでにモデル校では、パソコン教室40台は使われていません。さらに全校約1000

台のパソコン教室のリースとタブレットPCリースが二重になり、1.6億円のムダも問われます。この問題について区教委は、見解を示すことができませんでした。

引き続き教育効果やタブレット機器の陳腐化やなど検証を行うことが強く求められています。

日暮里駅そばに子育て中の女性、若者専門 ハローワークが開設します

開設は、9月1日からで、マザーズハローワーク、わかものハローワークとして開設されます。

先の話ですが、都心部では新宿、渋谷などに続いて3か所目のマザーズとわかもの向けハローワークができます。

専用パソコンでの求人情報提供と職業相談・紹介、自治体と連携した保育情報提供も予定しています。

就職面接会の開催、キッズルームや授乳室も設置されます。



西日暮里2-29-3日清ビル5～7F 1階りそな銀行日暮里支店
5階 マザーズ
6～7階 わかもの

マザーズハローワーク(渋谷)...無料の託児所付き(生後6か月～未就学児)。平日5日間でワードとエクセルの基本操作が学べる『パソコン講習』が好評。この講習を受けたうえで自分の履歴書を作成します。

セミナーも多様で、『ビジネスマナー&メイクアップセミナー』では、顔写真をキレイに撮る方法や面接のときの立ちふるまいなども専門アドバイザーが教えてくれます。

参加者は、デジカメ持参でメイクアップのビフォーアフターの写真撮影を見比べて、とても好評のようです。

出産後仕事復帰したい、子育てとの両立に不安を感じている方へのアドバイスを行う『再就職準備セミナー』もあります。

わかものハローワーク...正社員を目指す35歳未満の方を対象にして、もちろん求人情報検索・就職相談から各種セミナーに就活塾、担当制の予約相談なども実施しています。これから、ジョブ町屋などとの連携も必要です。



荒川区のイベント

川の手まつり
4月29日(火 休日)
10時～16時まで
都立汐入公園及びその周辺
バラの市
5月17日(土)9時30分から
6000鉢のバラ販売など
都電荒川線 町屋駅停留場、京成
本線 京成町屋駅周辺